

2021年4月8日（新規）

井口桂一先生*（作新学院大学・宇都宮大学非常勤講師）からのメッセージ

小学校3年生 理科を学ぶ皆さんへ 「学び方ガイド（2021）」

理科は、しぜんについてかんさつやじっけんを行いながら、かagak的にもんだいをかいけつしていきます。自分のまわりのしぜんをしらべ、ワクワク・ドキドキ・ナツクしながら理科のおもしろさを感じてほしいです。また、理科では「しぜんを見る目・見方」や「かagak的に考える力・考え方」をはたらかせながら学ぶことが大切です。

この「学び方ガイド（2021）」では、それぞれの単元で使ってほしい「理科の見方や考え方」についてしめしていきます。授業の中でこれらを使うことで、みなさんの理科の学びがより楽しいものになればうれしいです。

それでは、3年生理科の学習をはじめましょう。

※ 教科書により学習する単元のじゅんじょがちがう場合があります。その時は、「学び方ガイド2020」に1年間の学習がしめしてありますので、そちらも読んでみてください。

● 4月「生き物をさがそう」「たねをまこう」

「生き物をさがそう」では、校庭などで春の生き物のかんさつをします。たんぽぽやアブラナ、モンシロチョウやテントウムシをかんさつするときは、次のような見方（これから「理科のメガネ」とよびます）をすると生き物のことがよく分かります。

- ・ **色や形を見るメガネ**・・・色や形を見ると生き物のとくちょうが分かります
- ・ **道具を使って見るメガネ**・・・虫メガネを正しく使うとくわしくかんさつできます
ものさしを使うと大きさが数字で分かります
- ・ **上下左右から見るメガネ**・・・いろいろな方向から見ると新しい発見があります
- ・ **くらべながら見るメガネ**・・・2つものをくらべながら見ると
似ているところが発見できます
- ・ **数を数えながら見るメガネ**・・・花びらや虫の足の数などもその生き物のデータです

「理科のメガネ」を使って生き物をくわしくかんさつし、きろくカードにきろくしてください。きろくが終わったら、自分のきろくを見直したり友達ときろくを見合ったりして、「それぞれの生き物のようすをくらべながら見て、似ているところ・ちがっているところをさがす」ことが理科の考え方のポイントです。たくさんの生き物を見つけてきろくカードをかき、かんさつしたことを友達とつたえ合えるといいですね。

「たねをまこう」では、ホウセンカ・ヒマワリ・マリーゴールドなどのたねまきをします。たねまきの前には、いろいろなたねを観察します。大きなたねは自分の目で、小さなたねは虫メガネを使ってかんさつし、きろくするようにしましょう。たねのかんさつでは、「色や形を見るメガネ」「道具を使って見るメガネ」「上下左右から見るメガネ」などの「理科のメガネ」を使って見てください。また、本やインターネットなどでこれらの花について調べてみると、新しいじょうほうを見つけることができます。

3年生の学習では、夏のころまで植物を観察します。できれば、お家でも何か花のたねをまいて育てていくといいです。家のまわりで「め」を出している植物をさがして、それをつづけて観察していくのもいいですね。

*井口桂一先生の紹介

宇都宮市内公立小学校教諭、宇都宮大学教育学部附属小学校副校長、栃木市立家中小学校長、宇都宮市立城東小学校長を歴任。栃木県小学校教育研究会理科部会長として、理科指導法の研究に携わってきた。現在、作新学院大学勤務、宇都宮大学非常勤講師。